

アルジェリア紀行 世界遺産ムザブの谷と望郷アルジェの旅



ご旅行期間とご旅行代金

10月31日(火)発~11月9日(木)着…¥398,000

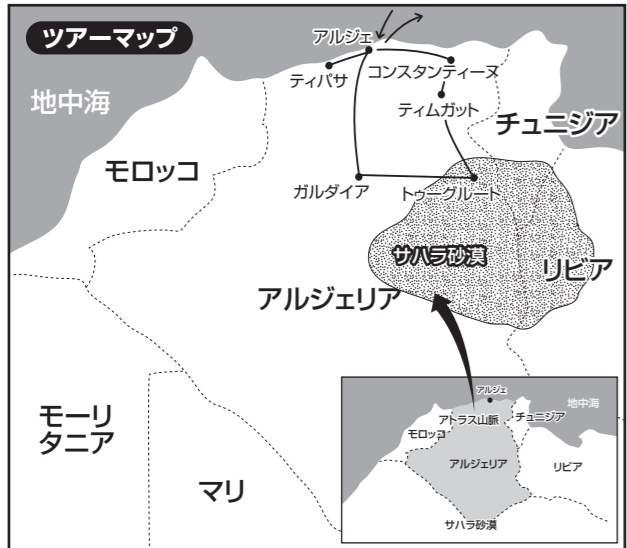
一人部屋利用追加料金 ¥68,000

ムザブの谷

橋の町・コンスタンティーン

元々、サリム・パティムの名で呼ばれていたヌミディア人の集落は、ギリシャの入植民の助けを借りて、**紀元前3世紀頃**に都市を意味する**キルタ**と名称を変え、**ヌミディア王国の首都**となりました。その後、キルタは北アフリカでも有数の大都市となり、1万人以上の騎兵隊を持つまでになりました。しかし、ローマ帝国との戦争に敗れたヌミディア王国は、**ローマ帝国に支配**されましたが、立地的な重要さからローマ帝国の北アフリカ諸州の中でも特別な都市と考えられていました。その後、キルタは戦争によって莫大な被害を受けたので、313年に新しく再建され、**皇帝コンスタンティヌス1世**の名をとって「コンスタンティーン」という名になりました。

のちにヴァンダル族、東ローマ帝国、アラブ人、オスマントルコ帝国に支配されていきますが、今では中世の町並みを残す古都として知られています。また、地形的な理由から**4本の釣り橋**が架かり、その中でも最も有名なシディ・ムシダ橋は、幅6メートル、長さ160メートル、高さは175メートルもある非常に美しい橋です。街のいたる所に撮影ポイントがあるので、写真好きな方にもおすすめの町です。



世界遺産・ムザブの谷

キュビズム風の建築物で埋め尽くされた砂漠のオアシス

アルジェから南へ約450km、サハラ砂漠北部のムザブの谷では、ベージュや象牙色、明るいトルコブルーに塗られた**立方体の家々**が、谷の中の**5つの小高い丘**を埋め尽くしています。夕暮れ時には、青く塗られた外壁が、より青みを深めて幻想性を増していきます。そんなムザブを愛した西欧人の代表がスイス生まれの**建築家ル・コンピュジエ**です。彼はインスピレーションが枯渇するところを訪れました。**キュビズム(立体主義)**を建築に取り入れ、独自の建築を試みた彼の発想の原点は、このムザブのユニークな風景でした。

世界遺産に指定された**パステルカラーの5つの村**、ガルダイア、エルアーティフ、プーヌーラ、ベニ・イスグェン、メリカを築いたのはベルベル人の一部族、ムザブ族でした。「コーラン」を厳格に解釈し、「**イスラム教の清教徒**」と言われた彼らは、イスラム世界では異端とされていました。主流派から迫害を受けた彼らは信仰の場を求め、流浪のすえに11世紀初め、この地にたどりついたと言われていました。

年間降水量が200mmという不毛で岩だらけの潤れ谷を、彼らは少しずつオアシスへと変えていき、井戸を多数掘り、高度な地下灌漑水路を通してナツメヤシなどの植林をしました。異民族や主流派の襲撃に備えて、要塞を築き、その中心にモスクを建設。住宅はモスクの周囲に同心円状に建てられ、家族数によって大きさの差はあるものの、平等の精神から、**建材やデザインを統一**。そして、どの家からもモスクのミナレットが見えるように街が造られました。ル・コンピュジエが愛したムザブの村々は、**計算され尽くした中世の計画都市**でした。

一つの村が飽和状態になると、隣の丘に別の村が造られました。こうして5つの村が建設され、さらに郊外にベリアーン、ゲラーラの2つの村が築かれました。各村は曲がりくねった**階段状の路地**が迷路のように**結ばれ要塞化**しています。アルジェリアの多くの都市が侵入者たちの影響を受けたのに対し、ムザブでは他からの干渉を受けない、伝統的なしきたりを守る厳格な生活が残されました。



コンスタンティーン/シディムシダ橋

6つの世界遺産

- 1. アルジェのカスバ**…映画「望郷」の舞台、海賊「赤髯」が礎を築いたイスラム城塞地区は、エキゾチックな迷路の世界です。
- 2. ムザブの谷**…現代のキュビズムに影響を与えた、パステルカラーの立方体住宅が密集する11世紀の5つの町は異次元の世界のようなイスラムの聖地です。
- 3. ティムガットの考古遺跡**…良い保存状態で発見されたモザイクが美しく「アフリカのポンペイ」と呼ばれるトラヤヌス帝時代のローマ植民都市です。きめ細かい浮彫りが街の繁栄を伝えています。
- 4. ジェミラの考古遺跡**…そのローマ風の美しさにアラブ人たちも魅せられたカラカラ帝の都市遺跡で、ローマ風の大通りなどが残っています。林立する列柱は壮観です。
- 5. 要塞都市ベニ・ハマッド**…イラク産のタイルで飾られていた盆地の斜面に広がる中世の大交易地跡で、アルジェリア第2の大きさのモスクがありました。モロッコやスペインのいくつかのモスクのミナレットはこのスタイルを踏襲しました。
- 6. ティバサの考古遺跡**…アルジェリア最大のキリスト教聖堂が残るカルタゴ都市遺跡で、北アフリカで最も重要なキリスト教徒居住区でした。




ティムガット遺跡











ご旅行条件

- 募集人員 / 18名様定員
- 最少催行人数 / 10名様
- 全食事付 / 朝食9回・昼食8回・夕食8回
- 成田空港使用料 / ¥2,610(別途必要)
- アルジェリア査証料及び取得手数料 / ¥10,000(別途必要)
- 旅券残存期間6ヵ月以上 / 査証欄2ページ要
- 査証用写真 / 2枚要(4.5×3.5cm) ※スピード写真可
- ※事前にパスポートとお写真をお預かりします。
- 旅行代金には、**海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。**
- 弊社では**燃油サーチャージを別途徴収いたしません。**
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス(ご自宅~空港~ご自宅)
- ※ビジネスクラス利用追加料金はお問合せください。
- ※成田発着: ¥10,000引き

ご利用予定ホテル

- アルジェ / アズ・ホテル、イクラム、ハニ、ソルトン、オアシス
 - ガルダイア / ル・ロステミズ、エル・ジャヌーブ
 - トゥーグルート / オアシス
 - バトナ / シェリア
 - コンスタンティーン / パノラミック、キルタ、ノポテル
 - セティーフ / エル・ヒダフ、タジ・エル・ムアダ、イビス
- ※上記ホテル又は同等クラスとなります。また、基本的にアルジェリアでは、バスタブは無く、シャワーのみが一般的となります。予めお含みおきください。

※右記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
 ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになれるよう万全の手配努力を致します。
 ※表記の「」はそれぞれ「朝食・昼食・夕食・機内食」を示します。区印の食事は含まれておりません。

日次	都市名	スケジュールと見どころ / お食事と宿泊地
1	千歳 成田 ローマ アルジェ	スーツケース無料託送サービス ご自宅~空港 午前、航空機にて、成田空港へ[09:30発]。 午後、アリタリア航空にて、イタリアのローマへ[14:15発]。着後、アリタリア航空を乗り継ぎ、アルジェリアの首都・アルジェへ。着後、専用バスにて、ホテルへ[00:05着]。 【アルジェに連泊】 
2	アルジェ	午前、ホテルにてゆっくりとお過ごしください。 午後、 アルジェ市内観光 (アラブ的な雰囲気の小さな軒が密集する迷路のような 世界遺産・アルジェのカスバ 、「アフリカの聖母」の意味を持つノートルダム・ド・アフリカ大聖堂、フランス映画「望郷」の舞台として有名な アルジェ港)。アルジェはフランス時代に建てられた青いバルコニーが優雅に続く南欧風の街並みです。 【アルジェ泊】 
3	アルジェ アトラス山脈 ガルダイア	専用バスにて、アトラス山脈の ジャルファ渓谷 を越えて、11世紀にイスラム教の清教徒のムザブ族が築いたサハラ砂漠の理想郷、ムザブの谷の観光拠点となるオアシス都市 ガルダイア へ。 【ガルダイア泊】 
4	[ムザブの谷] ガルダイア トゥーグルート	午前、ピラミッド型のパステルカラーの街並みが不毛の谷に突然と現れる 世界遺産 ムザブの谷 の集落を観光します。ムザブの谷はベルベル人の一部族で流浪の民と呼ばれるムザブ族が築いたイスラム教に厳格な村々です。特に宗教的な制約の厳しい ベニ・イスグェン は彼らの聖都であり、 20世紀最大のスイス人建築家ル・コンピュジエが絶賛 した碁盤状に並ぶ独特な白い短形の家並みがご覧いただけます。また、メリカ村のシディ・アイサの墓、ガルダイアの市場などへご案内します。 その後、専用バスにて、砂漠地帯のトゥーグルートへ。 【トゥーグルート泊】 
5	(サハラ砂漠) トゥーグルート オーフィー村 バトナ	早朝、 サハラ砂漠の日の出見学 へご案内いたします。 午前、砂漠地帯を走り、スーフィー教の人々が住む、約1,000個のドーム型の屋根が印象的なエル・ウェドの町を車窓よりご覧いただけます。途中、砂地で 「サハラのバラ」 を探します。 午後、オーフィー村にて、渓谷沿いに建ち並ぶベルベル人の居住区跡をご覧いただけます。 夕刻、ティムガット遺跡観光の拠点・バトナへ向かいます。 【バトナ泊】 
6	(ティムガット) バトナ コンスタンティーン	午前、 アルジェリア最大のローマ遺跡 でモザイクが美しい「 アフリカのポンペイ 」と讃えられる 世界遺産 ティムガット遺跡 (トラヤヌス帝の凱旋門、3500人収容の円形劇場など)へご案内いたします。また、 世界一良質なナツメヤシ が売られるバトナ市場にも立ち寄ります。 午後、専用バスにて、アルジェリア東部の中心地でフランス風の町・コンスタンティーンへ。 【コンスタンティーン泊】 
7	コンスタンティーン ジェミラ セティーフ	午前、 コンスタンティーン市内観光 。 コンスタンティーンで最も美しいシディ・ムシダ吊り橋 や、ヌミディア時代の墓標などを展示するコンスタンティーン博物館へご案内します。その後、専用バスにて、セティーフへ向かいます。途中、アラビア語で「美しい」という意味を持ち、遺跡の保存状態の良さでも知られる 世界遺産 ジェミラ遺跡 (セプティミウス・セウェルス神殿など)をご案内いたします。 アルジェリアで最も美しい遺跡 です。 【セティーフ泊】 
8	セティーフ ベニ・ハマッド アルジェ	専用バスにて、アルジェへ戻ります。途中、中世の隊商路にベルベル人が築いた、11世紀に繁栄を誇ったハマッド朝の都、 世界遺産ベニ・ハマッド の要塞都市遺跡を見学いたします。 マグレブ様式のモデル となった高さ 25mの大ミナレット などをご案内いたします。 【アルジェ泊】 
9	アルジェ (ティバサ) (シェルシェル)	終日、アルジェ郊外の観光へ。いまだ謎にまつまられたままの モーリタニア王家の墓 、紺碧の地中海を望む フェニキア とローマ時代の繊細な装飾が伺える都市遺跡 世界遺産 ティバサ (アルジェリア最大のバシリカ式聖堂跡、円形闘技場、カピトリウム神殿など)、 シェルシエルの古代水道橋 をご案内いたします。昼食は地中海のシーフードです。 【アルジェ泊】 
10	アルジェ ローマ	早朝、アリタリア航空にて、ローマへ[05:30発]。 着後、アリタリア航空を乗り継ぎ、帰国の途へ。 【機中泊】 
11	成田 千歳	午前、成田空港到着後[11:15着]、入国審査・税関検査。 着後、航空機にて、千歳空港へ。 夕刻、千歳空港到着後、解散[17:05着]。 【スーツケース無料託送サービス 空港~ご自宅】 